



校訓

至誠 順化 剛健

令和7年度 福井市順化小学校スクールプラン

学校教育目標

つながり合い、ひとりひとり輝く子の育成

めざす児童像

なかよく助け合う子 すすんで学ぶ子 明るく元気な子

研究主題 「学びをつなぐ・未来につなげる」
～人や地域とつながる授業づくり～

福井市学校教育目標

郷土福井に誇りを持ち、たくましく生きる子どもの育成
学校教育方針 学びをつなぐ・未来につなげる
～「つながる」を大切にしたい学校づくり～

保護者・地域・教職員の強み

- ・県・市の中心部に立地し、歴史と伝統のある学校である。
- ・福井城址等の史跡に隣接し、学習に集中できる環境である。
- ・家庭、地域の学校教育活動への関心が高く、協力的である。
- ・教職員間の雰囲気が良く、お互いが気軽に相談できる。

保護者・地域・教職員の願い

- ・社会をたくましく生き抜く力を身に付けてほしい。
- ・将来に夢や希望をもつ子になってほしい。
- ・思いやりや助け合いの心をもって行動できる子になってほしい。
- ・地域に誇りと愛着をもち、貢献できる子になってほしい。

本校児童の強み

- ・まじめに、前向きに学習に取り組む児童が多い。
- ・落ち着いていて、素直な児童が多い。
- ・お互いに仲間のことをよくわかっている。

本校児童の弱み

- ・困難を克服したり、新しいことにチャレンジしたりしようとする意欲が低い。
- ・自分の考えをもち、自ら進んで活動を工夫しようとする意欲に差がある。
- ・単学級のため、人間関係が固定化しやすい。

豊かな心の育成 なかよく助け合う子

居場所づくり・絆づくり

◎温かい人間関係のある集団づくり

- ・いじめを見過ごさない生徒指導
(毎月の心のアンケート、個別面談、SCの活用)
- ・支援体制づくり(チーム、個別対応)
(児童理解の充実とほめて伸ばす教育)
- ・互いに認め合える集団づくり
(異学年交流、児童主体の活動の充実)
- ・規範意識や自己肯定感の涵養

キャリア教育の充実と推進

◎地域・郷土への誇りの構築

- ・キャリア教育プログラムの活用
- ・「ふるさとギャラリー」の活用(各種団体連携)
- ・「未来探検in順化」の推進(PTA連携)
- ・地域と連携した活動の充実(地域連携)

- ・学校が楽しい子 93%以上
- ・郷土福井を大切にしたい子 95%以上
- ・将来の夢や目標をもつ子 90%以上

確かな学力の育成 すすんで学ぶ子

わかる授業づくり

◎主体的・対話的で深い学びの実現

- ・思考を深める学習課題の工夫
- ・学び合いの場と発表の場の工夫
- ・具体物の利用や体験活動の重視
- ◎基礎・基本の定着
- ・学びのルール「聞く・話す」の定着
- ・基礎学力の定着(漢字、計算、視写)
- ・読書活動の推進(読書ノートの取組)
- ・ユニバーサルデザイン化の推進

ICTの活用

◎1人1台端末の合理的な活用

◎情報モラル教育の推進

◎教職員の自己研鑽と協働体制

- ・校内研修の充実・研修会への積極的参加

- ・授業に進んで取り組む子 90%以上
- ・自分の考えを積極的に話す子 85%以上
- ・読書の習慣がある子 80%以上
- ・一人一人に応じた授業づくり 95%以上

健やかな心と身体の育成 明るく元気な子

心づくり・体づくり

◎人権教育を含めた道徳教育の充実

- ・人権月間 全校道徳
- ◎自己の体力向上
- ・運動の楽しさを感じ、基礎体力向上に向けた発表の場の設定と工夫
- ・ランランタイムの継続・推進
- ◎望ましい生活習慣の確立
- ・児童主体のあいさつ運動の推進
- ・健康教育(学校保健委員会・歯みがき指導)
- ・食育指導の推進(各学年1回以上)
- ・早寝・早起き・朝ごはんの推進
- ・情報リテラシー教育の推進

- ・道徳の授業で考えを深める子 90%以上
- ・健康な体づくりや生活習慣を意識した児童の割合 90%以上
- ・あいさつができる子 95%以上
- ・う歯治療率 100%

信頼される学校づくり

家庭・地域や中学校区との連携

◎地域を活用した学習・行事の工夫

- ・地域の資源や人材の積極的な活用
- ・地域コーディネーターとの連携
- ・教科領域横断的な学びの工夫

◎家庭・地域との協働体制の構築

- ・各種関係団体との協働事業の推進
- ・「白鳥懇話会」の開催
- ・情報発信による子どもの成長の共有
(学校公開、学校学年だより、HPさくら写真館)

◎園小中の相互理解の推進

- ・学校は体験的な学習を積極的に取り入れ、学習活動の充実に努めていると考える保護者 90%以上
- ・学校は教育方針や教育内容を適切に伝えていると考える保護者 90%以上
- ・校内や地域の人材を活用した教職員 90%以上

業務改善の取組

業務推進週間の活用、ICTの利活用、欠席・遅刻連絡フォームの活用、勤怠管理システムの活用、FEnetの活用、校務分掌のシステム化、終礼週1回、学校運営支援員の活用、ノー残業デー遵守